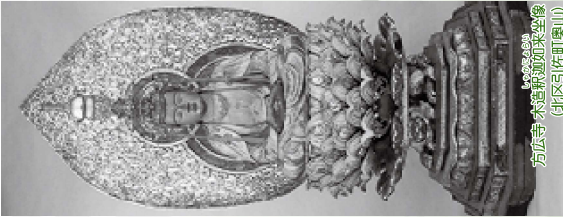


「歴史」「文化」「自然」を活かしたまちづくりに向けて

# 浜松市文化財保存活用地域計画



宝林寺本堂(中区細江町(中))



宝林寺本堂如来坐像(北区引佐町(奥山))



旧三ヶ野郵便敷設品倉庫(天竜区香蜂岡(奥山))



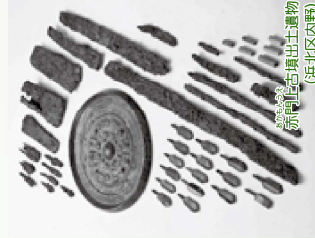
法蓮の法(東区桑川町)



寶林寺本堂(中区細江町(中))



シエームズ・ペイトン号 運搬事件関係資料(南区福島町)



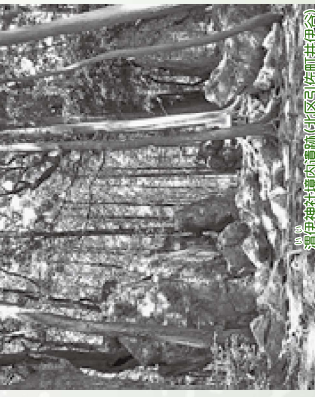
新田北志郎出土遺物(浜北区内野)



天竜浜名湖鉄道 機関車新車台(天竜区二保町(中))



中坊野住宅(西区雑踏町(中))



瀬伊海城址跡(北区佐間(伊))



浜松城跡(中区元町(松))



アカカニカメ(遠州灘海岸)



鳥居松置跡出土(金銀貫口頭大刀(中区森田町))



川名のゆいんどり(北区引佐町(中))

## 「浜松市文化財保存活用地域計画」 策定記念シンポジウム開催！

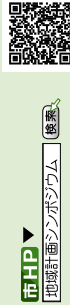
「文化財の保存と活用」がテーマの歴史都市・浜松の未来をテーマに、京都府立大学教授 宗田好史さん(浜松市出身)による基調講演や、静岡大学教授 笹原 恵さん、京都大学教授 山村 亜希さんらによるパネルディスカッションなどを開催します。

日時：9月23日(木)13:00から  
場所：地域情報センター(中区中央一丁目)

定員：50人(事前申込制・抽選)  
申込：ホームページ・住友はがき

8月31日(火)必着  
※インターネットによるライブ配信も行います。

詳細はホームページで確認してください。



地域計画シンポジウム(録画)

この計画はホームページに掲載しています。浜松市がたどってきた旧石器時代からの歴史的背景や伝統文化、豊富な文化財を写真や地図を織り交ぜて紹介しています。ぜひチェックしてみてください！

## 日本有数の文化財保有都市

浜名湖、遠州灘、天竜川、北遠の山々など豊かな自然環境と多彩な地形・地質に恵まれた浜松市。首都圏と関西圏のほぼ中間に位置し、古くから交通の要衝であった地理的環境も相まって、特徴的な歴史文化が育まれてきました。本市の文化財の総数は900件を超え、指定文化財の件数は、全国の都市の中でもトップクラスを誇ります。

市内の文化財件数  
(7月1日現在)

国指定	29
県指定	83
市指定	325
国登録	79
市認定	455
総数	971

## 地域総がかりで後世へ継承

文化財は、さまざまな時代背景の中で人々の生活や風土から生み出され、現在まで守り伝えられてきた貴重な財産です。そこで市では、少子高齢化や過疎化といった急激に進む社会変化の中でも文化財を適切に保存管理して、次代に引き継ぐために「浜松市文化財保存活用地域計画」を策定しました。この計画では、「歴史・文化・自然を活かしたまちづくり」を基本目標に、文化財が地域総がかりで保存活用されていく環境を整え、後世につながる仕組みづくりを進めています。

## 計画のポイント！ 「関連文化財群」と「文化財保存活用区域」

市内の多種多様な文化財の保護について、市民の皆さんと目指す将来像を共有し、文化財を活かしたまちづくりを推進するために「関連文化財群」と「文化財保存活用区域」を設定し、重点的に文化財の保存活用事業を実施していきます。

### ◆関連文化財群とは

関連性のあるテーマで個別の文化財を相互に結び付け、分かりやすい「ストーリー」と共に紹介することで、文化財が持つさまざまな価値や魅力を明らかにします。

### ◆文化財保存活用区域とは

重要な文化財が多く集まるエリアを、周辺環境も含めて一体的に保存活用することで、魅力的な空間の創出につなげます。

具体的な取り組み内容については、次のページで紹介いたします。



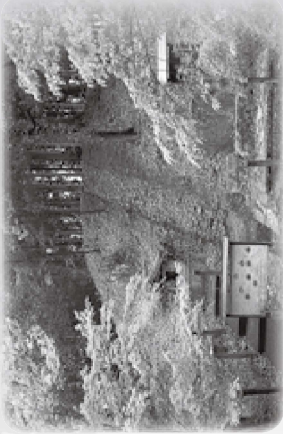
# 関連文化財群

4つのエリアから、  
相互に結び付いた文化財の魅力を発信します

## ◆ 地域社会と古墳

市内には、赤門上古墳(浜北区内野)、馬場平古墳(北区引佐町井伊倉)、光明山古墳(天竜区山奥)、入野古墳(西区入野町)など広範囲にわたって古墳があり、出土品からはこれらの地域の当時の姿を推察することができます。

光明山古墳・入野古墳を中心に、各古墳遺跡の環境整備や出土品の整理・基礎研究を進め、シンポジウムなどを開催して、研究成果を示します。



光明山古墳(天竜区山奥)

## ◆ 中・近世から続く祭礼・芸能

中世の頃から交通の要衝として栄えた浜松は、人物情報の交流が盛んで、さまざまな文化や風習に触れる機会が多くあり、各地で田楽念仏踊り、各種祭礼、農村歌舞など多様な伝統芸能が生まれました。

無形民俗文化財を確実に伝承していくため、祭礼や公演の一部を子供が担うサポーター制度などの担い手育成支援、民俗芸能に触れるイベント開催などのPR活動に取り組みます。



遠州大念仏(市内各地)

## ◆ 戦国大名たちの政防

戦国時代の市内の領域では、今川・徳川・武田・豊臣といった有力大名が領地をめぐる政防を繰り返したため、各所に城跡や古戦場など関連する文化財が多く残されています。

浜松城跡と二俣城跡、鳥羽山城跡を中心に、発掘調査・研究を続け、現地説明会を開催しガイドブックなどを作成します。また、徳川家康と関連する文化財について広く情報を集め、観光や産業振興につながる情報発信にも努めます。



二俣城跡(天竜区二俣町二俣)

## ◆ 秋葉信仰と秋葉街道

武運長久や伏魔を祈願する秋葉信仰は全国的に知られ、秋葉山や秋葉街道沿いには信仰にまつわる文化財が多く残されています。

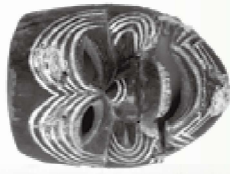
市民の皆さんと協働して総合的な調査を行い、秋葉信仰に関する民俗歴史などの調査成果や魅力をガイドブックにして広く市内外へ情報発信します。また関連文化財群を回る見学ルートを設定し、秋葉信仰関連ガイドツアーの開発に取り組みます。



小松秋葉大鳥居(浜北区小松)

## D 天竜二俣区域

ヤマとサトをつなぐ地域。街道の陸路と天竜川の水路がつながり古くから交通の要衝。戦上の際となった歴史的背景がある。



秋葉街道

姫街道

D

C

B

## A 浜松中心区域

曙祭遺跡・伊場遺跡・入野古墳・浜松城跡・浜松城下町など縄文時代から現代に至る浜松4千年の歴史をたどる文化財が集中する地域。

A

B

## B 表浜名湖区域

東海道の往来や浜名湖の恵みと共に歴史を築いてきた地域。中村家住宅や東海道無原宿などの文化財があり、ノリやウナギの養殖採目や角立て漁など浜名湖と一体となった景観が広がる。

## C 表浜名湖区域

銅鑼、古墳文化財建造物・仏像などの美術工芸品を数数、城跡群・姫街道関連史跡・正月行事や農村歌舞などの民俗芸能といふ豊富な文化財が残る地域。ミカン栽培と浜名湖が織りなす景観や、浜納豆や郷土菓「みそまん」などの食文化にも特徴がある。

# 文化財保存活用区域

国指定の重要文化財・史跡がある4つの地域を  
設定し、魅力あるまちづくりにつなげます

## インタビュー



浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会 事務局長 柴田宏祐さん

## 無形民俗文化財の伝統のともびを守っていききたい

文化財というと、歴史に残る建物や遺跡からの出土品などを思い浮かべるかもしれませんが、地元に残る言い伝えや私や私たちの暮らしの中にも存在しています。そこにある歴史(ヒストリー)を知れば、身近な地域の魅力をますます感じることでしょう。浜松市には「浜松地域遺産認定制度」という市内の幅広い文化資源を市が独自に認定して顕彰する制度があるので、市民の皆さんから、地元の魅力や魅力を伝えてほしいです。無形民俗文化財の各保存会では、伝統を絶やさないという思いを持っていて、コロナの影響で開催が危ぶまれました「神澤のおくなく」は、市民参加の協力を得て実施することができました。定年退職後からでも遅くはありません。多くの皆さんに無形民俗文化財に触れていただき、伝統のともびを守っていききたいですね。